

令和4年度 第1回 堺市バリアフリー化検討委員会 議事要旨

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和4年7月27日（水）午後1時30分～3時20分 |
| 開催場所 | 堺市総合福祉会館5階 大研修室（オンライン併用） |
| 案件 | 1. 堺駅・堺東駅周辺地区の整備状況の把握・評価見直し （バリアフリー基本構想見直し関係） 2. SMIプロジェクトについて 3. 重点整備地区の内、令和5年度評価見直しを行う地区について 4. 原池公園内バーベキュー施設に関する説明会の実施について 5. 公共施設等のバリアフリー化推進協議実施要綱について |
| 配布資料 | ・次第 ・資料1 堺市バリアフリー基本構想の改定について ・資料2-1 重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路について ・資料2-2 堺市交通バリアフリー基本構想（堺駅・堺東駅周辺地区）で位置付けた事業の進捗状況について ・資料3 SMI 都心ライン実証実験について ・資料4 重点整備地区の内、令和5年度に評価見直しを行う地区の検討について ・資料5 原池公園内バーベキュー施設に関する説明会概要 ・資料6-1 公共施設等のバリアフリー化推進協議実施要綱 ・資料6-2 公共施設等のバリアフリー化推進協議実施の概要 |

議事要旨

（1）開会

挨拶（健康福祉局長）

挨拶（委員長）

（2）案件

1. 堺駅・堺東駅周辺地区の整備状況の把握・評価見直し（バリアフリー基本構想見直し関係）

事務局より資料1、2-1、2-2について説明

○委員からの意見、質疑等

●土屋委員

奈良県、近鉄橿原線で視覚障害者が踏切で死亡するという事故があった。この事故を受け、国土交通省では改めて線路の安全に関する指針が出された。視覚障害者の社会参加を考える上で踏切を渡ることは避けられないので、鉄道会社と道路管理者としての堺市はその指針に基づいて市内全ての踏切部分の点字ブロックの点検をお願いしたい。

●事務局

その事故については認識しており、関係部局等と協議をしながら点字ブロックの確認・整備を随時進めていくべきと考えている。

●南海電鉄

同じく当該事故について認識しており、道路管理者と協議をしながら進めていくものと考えている。

●委員長

視覚障害者を現地に招いて、検証していくことが大事である。また、点字ブロックがはがれることがないように定期的なチェックをお願いしたい。

●杉本委員

2ページのバリアフリー法に基づく基本方針に、見直しの視点で聴覚障害及び知的、精神、発達障害に係るバリアフリーの進捗状況の見える化と記載されているが、どのように行うのか。

●事務局

今後どのような形で見える化を進めていくかというのは、皆様のご意見を取り入れながら一緒に作っていきたいと考えている。基本構想を改定する際にそのような視点も踏まえ、整備項目をどういった形で示し、進捗管理が出来るのかというところも考えながら行っていきたい。

●高塚委員

私も聴覚障害者の立場から当該駅を利用しており、電光掲示板に出発時間等が表示される。普段であれば問題ないが、事故や運休等の緊急時は音声の案内であるため、聴こえる人しか分からない。東京や埼玉では、緊急時に自動販売機の上にある電光掲示板のような光る仕組みがある。

また、5月19日に国会で「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立されたが、その内容がどこまで踏襲されているか知りたい。

●事務局

情報アクセシビリティに関しては本市の障害福祉部が中心となって、まずは市内の周知に努めているところである。また危機管理室が作成している防災マップ等を、どのようにお知らせしていくのが良いのかという議論も進めているところであるので引き続き周知、議論を進めていきたいと考えている。

2. SMIプロジェクトについて

SMIプロジェクト推進担当より資料3について説明

○委員からの意見、質疑等

●岸本委員

今もバスが通っているなか、これを導入することによって何がどう変わるのか。交通渋滞がなくなるのか。

●SMIプロジェクト推進担当

渋滞がなくなる訳ではないが、都心部の賑わい創出とあわせて移動を便利にすることで、都市の魅力向上をめざし、来訪者の増加や、住んでいる方の生活を便利にするもの。今年度実証実験を行うのは大小路の区間になるが、加えて阪堺線の利便性向上や、都心エリア内の回遊性向上のために、電動車いす等新たな移動手段のシェアリングサービスも検討していく。

●岸本委員

バスの停留所は今と同じか。

●SMIプロジェクト推進担当

場所は確定していないが今の停留所の位置をベースに議論していく。

●委員長

このような大きな実証実験で当事者も参画し、バリアフリー担当課と協力しながら進めていくことは画期的なことである。他ではあまり例がなく、頑張ってバリアフリー化を進めていただきたい。

3. 重点整備地区の内、令和5年度評価見直しを行う地区について

事務局より資料4について説明

●南海電鉄

南海中百舌鳥駅については可動式ホーム柵の設置計画といったところで工事の着手に向け現在最終調整をしている段階だが、具体的に工事の内容等が確定すればプレスリリースにて皆様にお知らせしたいと思っている。

4. 原池公園内バーベキュー施設に関する説明会の実施について

事務局より資料5について説明

○委員からの意見、質疑等

●西村委員

駐車場から当該施設に入るまでのアプローチがレンガ造りなので、車いすや杖を使用している場合は非常に危険があるので手すりをつけてほしいと要望した。また、トイレや売店の案内が非常に少なく、ガラス戸も境界が分かりづらく、ぶつかるのではないかと心配。そこにガラス戸があるという表示があればいいと思う。

●事務局

その旨、事業者及び所管課にお伝えしたが、費用面のこと等もあるので今すぐの対応は難しいと聞いている。

●高塚委員

当該施設は公園の施設だから広域避難所の指定になっているか。ろうあ者だけでなくみんなが安心して避難できる場所を考える必要がある。LGBTQの問題もあり、トイレ等のことも含め誰でも利用できることが必要。

●事務局

避難所として指定されているかどうかについては一度確認させていただきたいが、ご指摘の趣旨は、防災の観点で誰もが利用しやすい整備を進めていくべきという点にあると思うので、関係部署に対して周知していきたい。なお、当該施設は民間事業者による整備、運営となっているため本日改めて出たご意見についてお伝えはさせていただくが、どこまで実現するかということは難しい点である。

※補足：原池公園は災害時の広域避難地ではないが、同公園体育館が地震時の指定避難所となっている。

5. 公共施設等のバリアフリー化推進協議実施要綱について

事務局より資料 6-1、6-2 について説明

(案件に対する意見なし)

○委員からの意見、質疑等

●久保委員

様々なところで整備が進んできているなか、まだ時間のかかる部分もあると思う。ただ、様々な形で協力すれば進んでいく部分も多いと思うので、様々な団体の理解と協力のもとに一層進むことが期待される。

●堺委員

最近は特にバリアフリーの説明が非常にわかりやすくなってきているように思う。躓きやすかった歩道の段差も最近は減ってきて有難く思っている。

●土屋委員

先程のバーベキュー施設の件で、点字メニューの作成にあたっては協力させていただくので早急に作成してほしいと要望させてもらった。費用の面は理由にならない。民間事業者と言っても堺市が選定した事業者なのだから仕方ないとはならない。現地まで行き、意見を申し上げている。

●事務局

確認を行いたい。もしまだ準備が出来ていなければ改めて検討していただくようにご説明させていただきます。

●土屋委員

SMI プロジェクトのバスについては無人化されるのか。やはり機械的によるバリアフリーが進んでも、運転手に尋ねること等が必要になるので心配している。当事者団体と話し合いながら進めていくと仰っていたのでその点では安心しているが、全て整ってから改善できないとなっては困るので、意見を取り入れながら進めてほしい。

●SMI プロジェクト推進担当

自動運転の取り組みを進めてはいるが、他のサービス面も考慮して公共交通に運転手は必要と考えている。停留所への正着や安全性の向上など、“運転手の運転支援”に自動運転の機能を利用しようと考えているので、無人化は想定していない。

●清良井委員

先日「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」が国土交通省で策定された。鉄道事業者の経営上の関係でどうしても無人駅にしなければならない場合、一定の整備の設置を心掛けていただくようにというものである。ホームページに掲載しているので適宜ご覧いただきたい。

●堺警察署

視覚障害者の方用の音響信号がうるさい、音量を下げてほしいという要望が多々ある。そうなると音量を下げてもらうご協力もお願いすることがある。

●委員長

音響の技術進歩が進みスピーカーの指向性等に関して研究途上ではあるが改善されていくだろう。

●杉本委員

堺市は歩車分離の交差点が少ないように思う。高齢者や障害者が増えてきているなか大きな交差点では一度の信号で渡り切れないこともあり大変危険。

●堺警察

現状の信号では東西で1サイクル、南北で1サイクルと2回の信号の変化で歩行者も車も渡れるようになっていて。それを歩車分離とすると歩行者の横断だけに使う時間が増えて3回となってしまふ。小さく交通量の少ないところであれば良いが、交通量の多い交差点で行くと今度は車の渋滞が激しくなってしまうので、そこのバランスを取るとなればなかなか難しい。

●林委員

我々も国道26号線、フェニックス通りを始め管理をさせていただいているので、また堺市の方向性が定まれば協力させていただこうと思っている。

●南海バス

SMIプロジェクトが今年度から始まる。これから前進的なシステムや取り組みにチャレンジしていかないといけない立場ではあるが、ご利用者の安全と、高齢者を始めとしてお一人お一人への心遣いは忘れずに安全なバスとなるよう気を付けて取り組んでいきたい。

●石塚委員

今回一番大事だと思ったのは、最後の案件で「公共施設等のバリアフリー化推進協議実施要綱」が今年2月に完全施行されたというご報告があったが、そちらの第3条に、計画段階の適切な時期に事例に応じて複数回当事者参画の検討していく場を設けるということがルール化されたという部分。その前の議題にあった原池公園内バーベキュー施設では直していくべきではあるもののどうしても後から手すりをつけてほしい等要望が出てくるので、これがもし設計段階に協議出来ていたら今の段階で設置されていたように思う。そんな中でSMIプロジェクトのような、これから最も大切な最新プロジェクトが始まるということで、これをバリアフリーの観点からも取り組んでいただけるということに非常に期待している。

●委員長

ご指摘のようにこの推進協議は画期的だと思う。特に早い段階からの当事者参画が大きく進むことを期待したい。

(以上)